



男子ジュニア選手権のスタート。全日本リレー大会は、学生たちが地域の都道府県協会と接点を持つ重要な接点となっている。

## 美濃を制すものは天下を制す。雪をも溶かす大熱戦！

2014年12月7日(日) 岐阜県中津川市  
全日本リレーオリエンテーリング大会

### 男子選手権結果

- 1 静岡 2:08:51  
松澤俊行-長縄知晃-小泉成行
- 2 東京 2:15:26  
細淵晃平-真保陽一-糸賀翔太
- 3 愛知 2:17:09  
谷川友太-堀田遼-細川知希

### 女子選手権結果

- 1 愛知 1:59:48  
星美沙-落合志保子-守屋舞香
- 2 山梨 2:01:46  
山本紗穂里-五味あずさ-宮川早穂
- 3 東京 2:10:47  
水嶋直子-伊東瑠実子-渡辺円香

### 男子シニア選手権結果

- 1 東京 2:03:47  
山本真司-藤生考志-篠原岳夫
- 2 京都 2:05:50  
深川陽平-小暮喜代志-金谷敏行
- 3 静岡 2:08:19  
田代雅之-田濃邦彦-村越真

### 女子シニア選手権結果

- 1 静岡+愛知+三重 1:45:02  
村越久子-鳥羽都子-加納尚子
- 2 東京 1:57:35  
横澤夕香-浦瀬香子-宇野明子

### 男子ジュニア選手権結果

- 1 愛知 1:55:17  
橋本知明-角田貴大-宮西優太郎

- 2 愛知 3 1:58:16  
岩瀬史明-和佐田祥太郎-石山良太
- 3 東京 2 1:58:44  
猪俣祐貴-木島佑輔-栗本開

### 女子ジュニア選手権結果

- 1 愛知 1 1:52:53  
神谷玲花-伊東佑子-川島実紗
- 2 愛知 2 1:56:31  
佐藤あかね-伊藤沙恵-渡辺菜央美
- 3 茨城 2:04:22  
椎名麻美-直井萌香-小川菜乃

### 男子ベテラン選手権結果

- 1 大阪 1 1:50:07  
辻村歩-山根祥延-瀧川英雄
- 2 東京 1 1:56:41  
桜井剛-大橋晴彦-杉本光正
- 3 埼玉 1:57:00  
福原正三-海老沢正-齋藤英之

### 女子ベテラン選手権結果

- 1 愛知 1:56:43  
三井由美-長瀬朋子-鈴木幸子

### スーパーベテラン選手権結果

- 1 神奈川 1 1:26:52  
河村健二-関野賢二-伊藤清
- 2 愛知 1 1:30:17  
栗野義明-岡野英雄-小幡昭次
- 3 岩手 1:30:43  
菅原健一-三澤儀男-高橋千代司

### スーパージュニア選手権結果

- 1 愛知 1:16:44  
宮嶋大輔-祖父江有祐-梅本航聖
- 2 三重 1:16:52  
阪井政文-上田皓一郎-田村尚也
- 3 東京 1:36:30  
国沢琉-青島光太郎-原万尋

## 大会中止かも？

1日前から降り出した雪が止まず、大会前夜にはテレインに近い妻籠宿(つまご)は約10cmの積雪。これで大会できるのか？会場となる「椈の湖キャンプ場」(岐阜県中津川市)までのアクセスは急斜面を車で上がってゆかなくてはならない。選手が会場にたどり着けるのか？こう気を揉んでいたのは、私たち長野県選手団だけではなく、各都道府県チーム、そして何よりも主管者の岐阜県オリエンテーリング協会だったろう。

大会開催日の朝になり、天候は好転。気温も上がって無事大会は開催された。ただ会場グランドはどろんこだ。

## 真っ白なテレイン

今まで数々の熱戦が行われてきたテレイン「椈の湖」。今回も全日本リレー大会というビッグイベントでリニューアル登場。地図が白いことで知られるこのテレインだが、今回はテレイン内部も新雪で真っ白だった。

雪に覆われたテレインは地形が見えにくい。さらに小さな特徴物はことごとく雪を被っていてこれらも見つけにくいだった。「ここは岩石地だな」と思って通ってみると、実は倒木地帯だったこともあった。人の通っていない小径は判別が難しい。逆に尾根筋など、道はないのに足跡がしっかりついている。ダウトとフェイクを見極めながらのナビゲーションは難しいものだった。

## VIP チーム

今回、運営者による VIP チームが結成され、当日朝に紹介された。

「1 走 スウェーデン人留学生」  
(パチパチパチ)

「2 走 日本オリエンテーリング協会  
会長」「おー」

「3 走 岐阜県副知事」「ええっ！」

岐阜県副知事の高原氏は元学生オリエンティア。全日本リレーでも 0 スーツ (いわゆるトリム) 姿で普通に「栂の湖」の難関コースを回っていた。

長野県チームとして岐阜県協会に感謝したいのは、スウェーデン人留学生への配慮だった。彼女が留学生として長野県にきて、我々と接触できたのは本大会の締切後。日本でもオリエンテーリングをやりたいたいという彼女の希望を叶えるために、栂の湖で走る機会を主管者に特別に与えていただいた。もうすぐ長野県は冬のオフシーズンを迎える。最後のフット 0 の機会となるこの大会に何とか滑り込ませていただいた。

慣れない異国の森の中をいきなり直進するような環境の中で、彼女は優れたパフォーマンスを發揮した。同世代日本女子ジュニアのトップと同等の走りを見せた。日本のトレインに慣れてくればもっと速く走ることができるだろう。

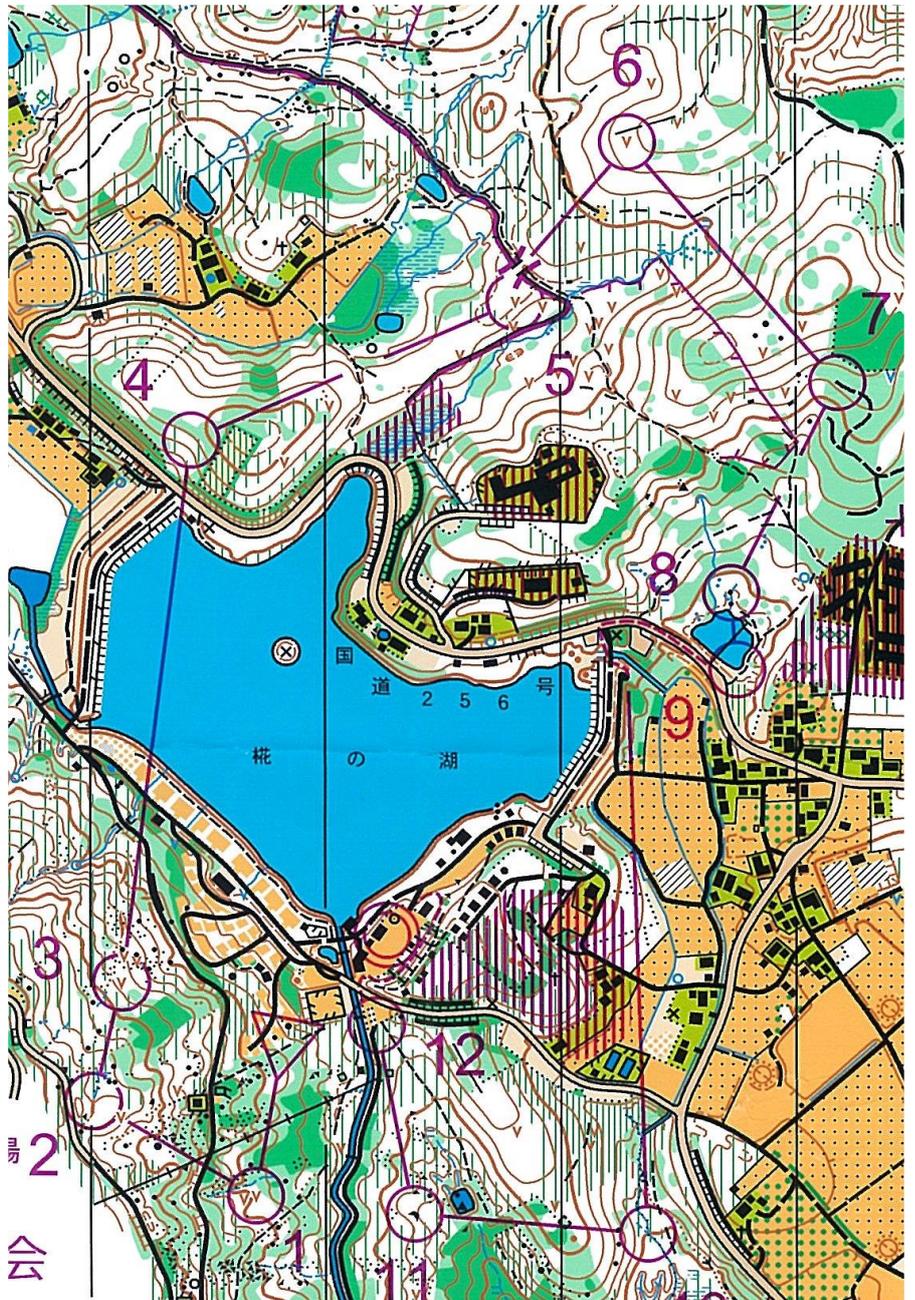
今、海外オリエンティアが日本の大会情報を入手することは絶望的な状況なのだ。インターネットが普及しているとはいえ、日本のオリエンテーリング情報が英語で発信されていないため、外国人は情報を得ることができない。



災害騒ぎのあとの 12 月、妻籠宿には人もまばら。スウェーデン留学生に日本の宿場町はどう映ったのだろうか。

## ささやかながら災害支援

長野県選手団は、大会会場近くの妻籠宿 (長野県南木曽町) に宿をとった。大会会場は長野県との県境。そこから数 km ほど木曽路をたどると、妻籠宿である。「長野県選手団」ということで選手村は長野県内にこだった。ささや



女子選手権クラスのコース (男子ベテランクラスと兼用)  
途中で交通量が少ないとは言え、国道を 2 回も横断し、獣害対策の柵を通過する。  
雪の中で誘導対応した役員も大会が実施できてほっと一息だろう。

かながら災害支援を行おうと考えた。ホスト都市となった中津川市には申し訳ない。

主要産業が観光である長野県木曽地方の今年には災難続きだった。

2014 年 7 月 9 日 長野県南木曽町で大雨による土石流が発生した。死者 1 名をだし、多くの施設が被災した。JR 中央西線が流され、鉄道復旧まで 1 ヶ月を有した。この期間は名古屋-長野間の特急は 1 ヶ月にわたって運休。鉄道が止まったことによって木曽への観光客は落ち込んだ。

鉄道が復旧し、いよいよ秋の紅葉シ

ーズンがやってきた 2014 年 9 月 27 日に御嶽山が噴火。戦後史上最悪の噴火災害をもたらした。毎日続く噴火災害報道で観光客も激減。観光産業にとって悲惨な年となった。御嶽山噴火の被害地域は山頂周囲に限定され、木曽の宿場町付近には全く影響がないのだが。  
(木村佳司)